

西部処理場 汚泥処理施設等運転管理業務

受託者選定基準

神戸市建設局

目 次

1 総則.....	1
2 受託者選定方法.....	1

1 総則

本受託者選定基準は、神戸市（以下「市」という。）が、西部処理場汚泥処理施設等の運転管理業務（以下「本委託」という。）を実施する民間事業者（以下「受託者」という。）を選定するための基準を示すものである。

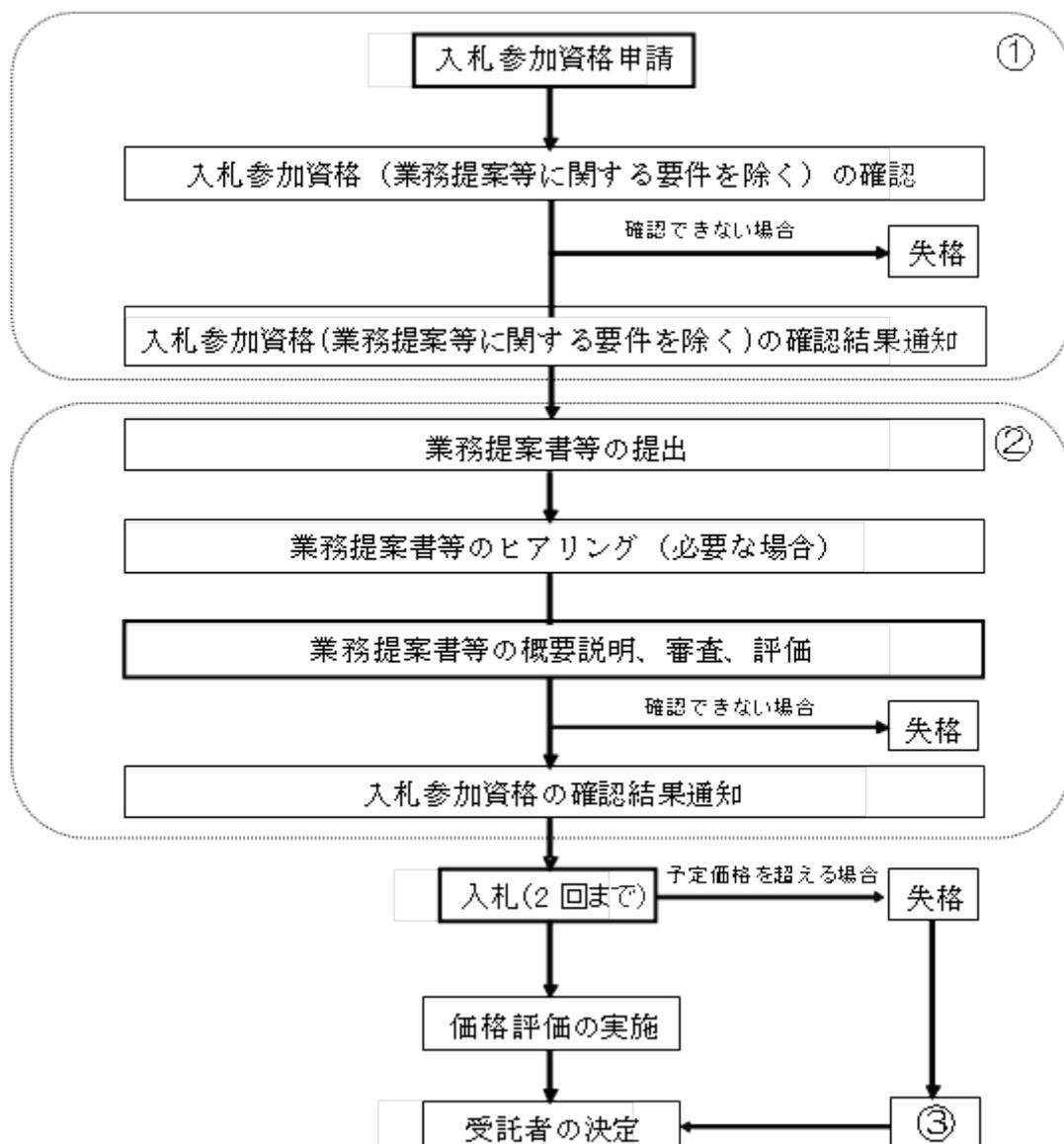
本委託を実施する受託者には、下水道施設の運営・維持管理に関する専門的な知識や技術力、経験が求められる。したがって、受託者の選定にあたっては、競争性、公平性、透明性を確保するため一般に公募するとともに、一定の資格要件や業務提案を審査する過程で、長期間に及ぶ事業遂行能力や技術能力を有する入札参加者に絞り込み、入札により価格評価を行う「条件付一般競争入札方式」を採用する。

また、受託者の選定において、資格審査及び業務提案の審査は神戸市建設局にて行い、業務提案の内容および審査の内容は神戸市情報公開条例第10条の規定により非公開とする。

2 受託者選定方法

(1) 受託者選定の手順

受託者を選定する手順は、下図に示すとおりである。



(2) 入札参加資格の確認および業務提案書の審査、確認

① 参加資格（業務提案に関する要件を除く。）の確認

応募者から提出された参加資格審査申請書及び参加資格確認資料により、業務提案に関する要件を除く参加資格を確認する。

入札説明書等に示す参加資格要件の具備が確認できない場合は失格とする。

② 業務提案書の審査、確認

業務提案書について、各様式に記載された内容により、仕様書の内容の達成が可能で、長期間に及ぶ事業遂行能力や技術能力を有していると認められるか、などを審査、確認する。

業務提案の内容に評価項目を満たさない事項がある場合、及び業務説明が適正であると確認できない場合は失格とする。

③ 全入札参加者が予定価格を超えた場合の対応

不調打切後、再入札における入札価格の低い者から順に協議を行い、予定価格内に収まったときは、その入札参加者との随意契約を予定する。

(3) 業務提案の評価

業務提案については、運営コストの低減はもとより下水処理サービス水準の向上を目標として、本市が期待する事項の重要性、必要性に応じて評価を行う。

業務提案書の内容に応じ、各評価項目の評価基準については、「表1 評価の基準」による。評価項目および評価内容については「表2 評価項目および評価内容」に示す。

表1 評価の基準

評価	評価の意味合い
可	当該評価項目を満足している
不可	当該評価項目を満足していると認められない

各評価項目のうち1項目でも「不可」の評価がある場合は、長期間に及ぶ事業遂行能力や技術能力を有しているとは認められず、失格とする。

(4) 入札

ア 応募者の提出する価格

市から入札参加資格確認の通知を受け取った応募者は、業務価格について入札を行う。

イ 価格の確認、受託者の選定

価格の確認および受託者の選定など入札手続きについては、「入札説明書」による。

表2 評価項目および評価内容

評価項目		評価内容
1. 一般事項	(1)管理運営の基本方針	<p>①本委託の趣旨、委託対象施設の特徴を踏まえ、管理運営の基本方針、本業務への取組み姿勢が示されているか。</p> <p>②自社の優位性のアピールがなされ、具体的で有益な提案がされているか。</p> <p>③会社概要（資本金額、営業種目、許認可事項、従業員数、有資格者数等）は適切か。</p>
2. 共通事項	(1)業務実施体制	<p>①配置予定の総括責任者、副総括責任者の経歴、資格等により委託仕様書の資格要件を満たしているか。</p> <p>②夜間を含む 24 時間通年の業務実施のために必要な人員配置計画（有資格者の配置計画を含む）、組織体制が具体的に提案されているか。</p> <p>③業務の一部を再委託する場合の業務範囲、業者選定の考え方について具体的に提案されているか。</p> <p>④業務引継ぎについて、体制（人的・技術的バックアップ体制等）やスケジュール等具体的な計画が提案されているか。</p>
	(2)リスク管理	<p>①自然災害時（大雨、地震、津波等）、緊急時（停電、悪質流入水、各種設備の故障等）、感染症発症時（予防対応を含む）等における対応方針、発生時の対策、連絡体制（委託者との連絡を含む）、人員・機材の準備（会社のバックアップを含む）について具体的な提案がされているか。</p> <p>②①を想定した訓練等への取り組みについて、その方法や内容及び実施計画などの具体的な提案がされているか。</p>
	(3)安全衛生管理	<p>①業務従事者や外部の入場者に対する安全衛生管理の方針および具体的な方法について提案されているか。</p>
	(4)技術力の維持向上	<p>①運転・保守管理等の教育、研修など業務レベルの維持向上について具体的に提案されているか。</p> <p>②会社の人的・技術的バックアップ体制について具体的に提案されているか。</p> <p>③配置した人員を業務実施期間中継続して業務に従事させるなど、運転・保守管理の技術力を低下させない提案がされているか。</p>
3. 運転管理	(1)運転管理業務	<p>①対象施設の特徴を理解した上で、施設の運転管理（平常時の運転及び不具合発生時の対応等）方針が具体的に提案されているか。</p> <p>②脱水ケーキ量削減に対する具体的な提案がされているか。</p> <p>③濃縮、脱水で使用する薬品量削減に対する具体的な提案がされているか。</p> <p>④対象施設の管理に関して、周辺環境配慮への留意点を整理し、具体的な対処方法が提案されているか。</p> <p>⑤業務遂行にあたって、創意工夫により省エネ・省資源及び②、③以外の運転経費削減への期待ができる取り組みが具体的に提案されているか（その効果が金額にて算出できる場合は、その金額も記入すること）。</p>

評価項目		評価内容
4. 保守点検	(1)保守点検計画	<p>①施設・設備の機能維持を実現するための保守点検計画（頻度、内容等）について委託仕様書を満たす提案がされているか。</p> <p>②委託者の修繕費の節減につながる有益な方法が提案されているか。</p> <p>③ICTを活用した保守点検の効率化や改善が提案されているか。</p>
	(2)修繕業務	<p>①設備台帳等を活用した保全状況の記録、施設機能状態の把握方法について具体的に提案されているか。</p> <p>②受託者が対応する故障復旧および修繕について具体的な提案がされているか。</p>
5. その他	(1)循環型社会の形成に向けた取り組み	<p>①地球温暖化防止、水循環やリサイクルの推進など循環型社会の形成に向けた方針と具体的な方策等（SDGsへの取り組み等）について提案されているか。</p>